

GRAN NEXT

Quarterly Report

2025年1-3月

追加型投信／内外／株式

GRAN NEXT エネルギー / GRAN NEXT フード / GRAN NEXT モビリティ / GRAN NEXT テクノロジー /
GRAN NEXT ヘルスサイエンス / GRAN NEXT フィナンシャルズ

追加型投信／国内／債券

GRAN NEXT マネープールファンド

平素はGRAN NEXTをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

GRAN NEXTでは、メガトレンド(今後10年超にわたる長い潮流で起こりうる社会の変化やイノベーションを捉える)に関連した長期間持続すると考えられる6つの投資テーマをファンドとし、投資機会をご提供しております。

本資料では、2025年1-3月の運用状況を振り返りつつ、ブラックロックの直近の市場見通しに基づき、今後3ヵ月から6ヵ月にわたる見通しや着目しているピックアップテーマをご紹介します。

2025年1-3月の騰落率と今後の市場環境等の見通し

	2025年1-3月 騰落率	今後の市場環境等 の見通し
GRAN NEXT エネルギー	-12.0%	
GRAN NEXT フード	-7.4%	
GRAN NEXT モビリティ	-7.1%	
GRAN NEXT テクノロジー	-17.8%	
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	-1.6%	
GRAN NEXT フィナンシャルズ	-4.0%	

・上記6ファンド以外に、GRAN NEXT マネープールファンドもあります。・騰落率は2024年12月30日～2025年3月31日の騰落率です。分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・今後の見通しは、晴れはポジティブな見通し、曇りは横ばい、雨はネガティブな見通しを表しています。ブラックロックの直近の市場見通し資料「2025 Global Outlook」コメント等を基にした今後3ヵ月から6ヵ月程度の見通しです。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ブラックロック ピックアップテーマ



GRAN NEXT ヘルスサイエンス

医療技術進展や高齢化がもたらす堅調な業績見通しに注目

・本資料は、ブラックロック・ジャパン(ブラックロックという場合があります)の資料・コメントを基に作成しています。また、各外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社が行います。・上記6ファンドを総称して「ファンド」、各々のファンドを「各ファンド」という場合があります。・本資料は、各ファンドをご理解いただくために運用状況を説明したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

2025年1-3月の運用状況と基準価額(分配金再投資)の推移



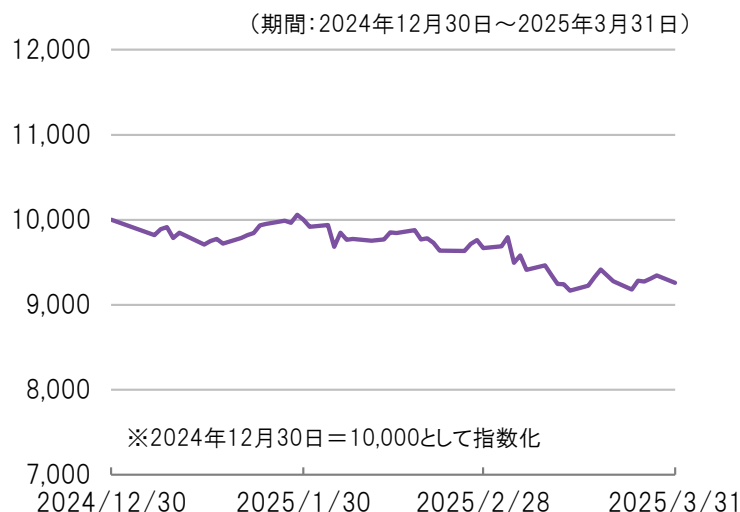
GRAN NEXT エネルギー

- マクロ環境への不安が拡大する中、エネルギーを供給する送配電系統(グリッド)関連企業のパフォーマンスは相対的に好調であった。米国および英国で電力送電やガス供給事業を展開するナショナル・グリッドは、当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与した。
- トランプ米大統領によるエネルギー政策の見直しを受け、再生可能エネルギー領域は軟調に推移し、太陽電池モジュール製造を行うファースト・ソーラーの株価は大幅に下落した。同様に、政策見直しの影響を受けたEV半導体企業も株価が下落し、オン・セミコンダクター、マーベル・テクノロジー、バーティブ・ホールディングス等が当ファンドのパフォーマンスのマイナス要因となった。



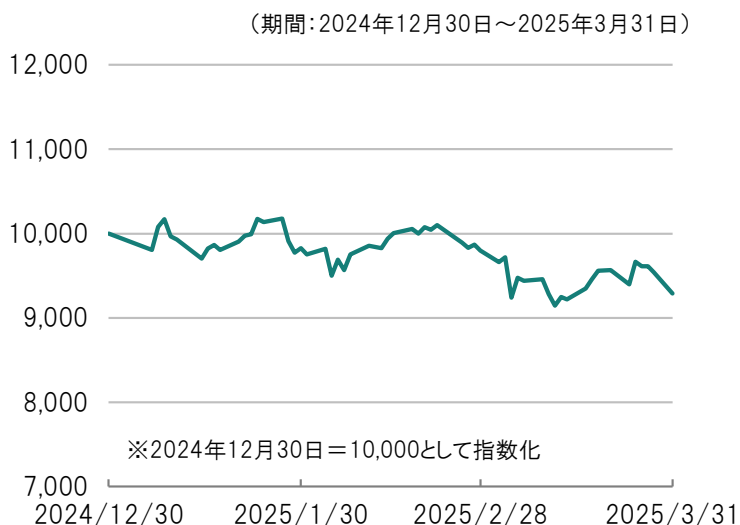
GRAN NEXT フード

- 米国の産業廃棄物処理ソリューション企業であるリパブリック・サービスは、好調な財務状況と堅調な業績見通しを受けて、株価が上昇。当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与した。
- カナダで自然・有機食品ビジネスを展開するサンオプタは、2024年度10-12月期は堅調な業績であったものの、2025年度の業績見通しが保守的であったことを受け株価が下落。パフォーマンスにマイナスの影響を与えた。



GRAN NEXT モビリティ

- 米国が中国に対して関税を引き上げ、カナダとメキシコに対しても一連の関税措置を実施すると発表。これらの発表により、今後の関税に関する不確実性が拡大し、モビリティセクターにネガティブな影響を与えた結果、当ファンドのパフォーマンスにはマイナス要因となった。
- 中国の電気自動車大手であるBYDが当ファンドのパフォーマンスにプラス寄与した。同社が発表した2024年12月期通期決算は大幅な増益を記録し、10-12月期のバッテリーEV販売台数は米テスラを上回り世界トップとなった。一方で、オン・セミコンダクターやマーベル・テクノロジーなどの半導体関連企業の株価下落がマイナス要因となった。



・基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・上記は2025年1-3月における運用状況をご説明したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、各ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

2025年1-3月の運用状況と基準価額(分配金再投資)の推移



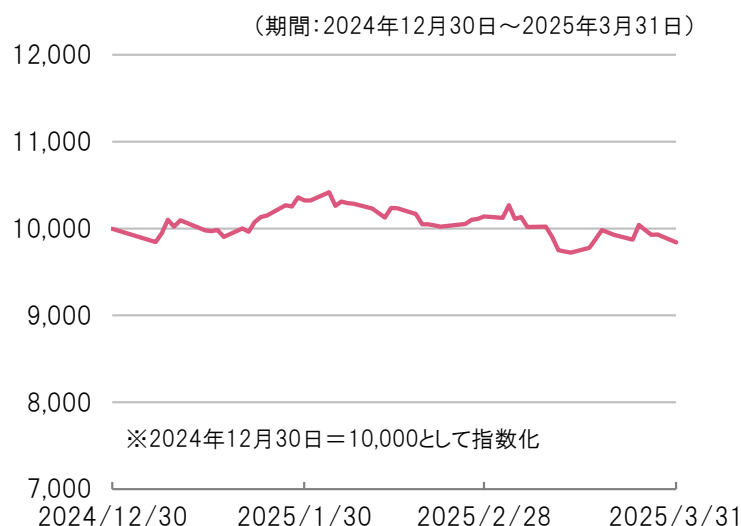
GRAN NEXT テクノロジー

- トランプ米大統領の相互関税発表を受けた貿易摩擦激化懸念から、テクノロジーセクターはAI関連銘柄を中心に大幅に下落。当ファンドのパフォーマンスのマイナス要因となった。
- 個別銘柄では、スポティファイの株価上昇が当ファンドのパフォーマンスに貢献した。同社は音楽ストリーミングサービスを提供する企業であり、ユーザー数の増加、マージンの改善、ポッドキャスト事業の再編効果が好感され、株価は堅調に推移した。一方、テスラは需要の減速やEVインセンティブの縮小、生産障害が嫌気され株価が下落し、当ファンドのパフォーマンスのマイナス要因となった。



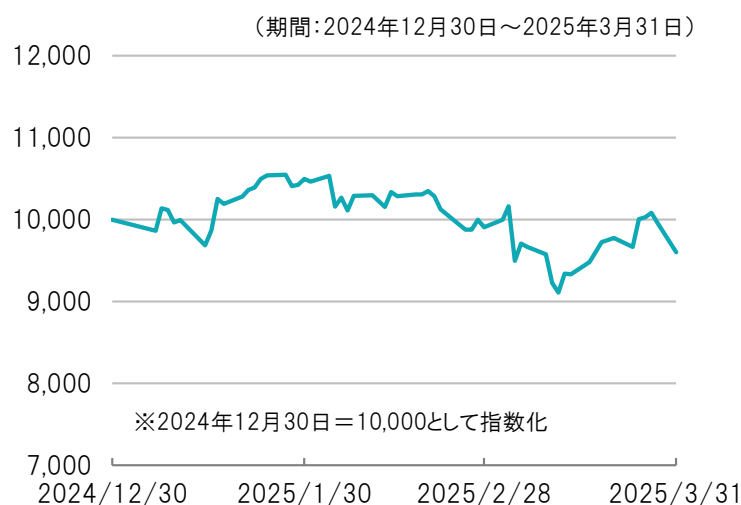
GRAN NEXT ヘルスサイエンス

- 世界株式が大きく下落する中で、ヘルスサイエンスセクターは相対的に堅調に推移。当ファンドも相対的に小さいマイナス幅での着地となった。
- ボストン・サイエンティフィックは、心疾患関連機器の強い需要に支えられて株価が堅調に推移し、当ファンドにプラス寄与した。特定の心拍異常を治療するファラパルスという機器等が足下の成長ドライバーとなった。一方で、ダヴィンチ外科手術システム等を提供するインテュイティブサージカルは、堅調な業績であったものの、年初来の環境変化を受け株価が大幅に下落し、当ファンドのパフォーマンスにマイナスの影響を与えた。



GRAN NEXT フィナンシャルズ

- フランスの代表的な銀行であるソシエテ・ジェネラルの株価が大きく上昇し、当ファンドのパフォーマンスにプラスに貢献した。同社の利益が増加したことに加え、2025年のコスト削減見込みが示唆されるなど、決算発表がコンセンサスを大きく上回るものだったことによるもの。
- 一方で、予想を大きく下回る業績となったダン・アンド・ブラッドストリートは株価が大幅下落。当ファンドのパフォーマンスのマイナス要因となった。



・基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。・上記は2025年1-3月における運用状況をご説明したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、各ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

今後3ヵ月から6ヵ月にわたる市場環境等の見通し



GRAN NEXT エネルギー

各国国内エネルギーの安全保障ニーズ拡大や、AIによる電力需要拡大に注目



- 高金利環境や米トランプ政権成立を契機とする政治的不確実性の増大、米トランプ政権のエネルギー政策等は持続可能なエネルギー領域に対して逆風との見方もあるが、後述の電力需要の高まりが予測されることから当領域に対する投資家の関心は今後高まっていくと考えている。
- 地政学的緊張と政治的不確実性の増大により、世界的に国内エネルギーの安全保障が課題になると見ている。そのため、伝統的な電力と持続可能なエネルギーによるクリーンな電力を組み合わせた電力供給のニーズが増加すると考える。また、AIの普及・高度化も、電力需要を押し上げる要因であると考える。



GRAN NEXT フード

持続可能な食に関する政策や技術発展によるコスト減に注目



- 新しい技術等が広く普及するためには、既存の技術等に対して新しい選択肢を持つこと、そしてコスト面が優位であることが必要だと考える。代替たんぱく質生成技術のコストを例に挙げると、1kg生成する費用は過去20年で100万米ドルから10米ドル（推定）と10万分の1にまで減少した。このようなコスト低減は、当テーマの収益成長を促進する可能性があると考えている。
- 食品システムへの移行という課題が、脱炭素と経済成長の両立を図る「EUグリーン・ディール」において中核に据えられているように、政策的な観点からもフード関連企業の成長が求められている中、新しい技術の発展を背景に食料産業に変化がもたらされると期待している。



GRAN NEXT モビリティ

生成AIによる技術発展に注目



- 自動車および電気自動車(EV)業界は米トランプ政権による関税の影響を受け、不透明感が強まっている。しかし自動車業界は関税対応に精通しており、足下欧州は米国と対話する意向を見せている。また、EVへの移行を主導している中国では、自動車の買い替え補助金制度の延長により関税による消費者心理への影響緩和も期待される。
- 先進運転支援システム(ADAS)と自律走行(AD)技術に対する生成AIの進歩が過小評価されていると考える。生成AIの革新的な進歩によりAD技術の開発が加速する可能性があるほか、自律運転テストにおいて生成AIの活用により大量のデータ処理が可能になることも、自動車業界の成長にポジティブに寄与すると考える。

・画像はイメージです。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

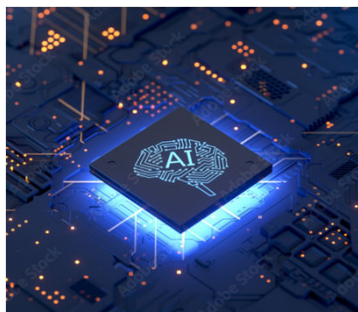
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

今後3ヵ月から6ヵ月にわたる市場環境等の見通し



GRAN NEXT テクノロジー

AIの更なるイノベーションに引き続き注目

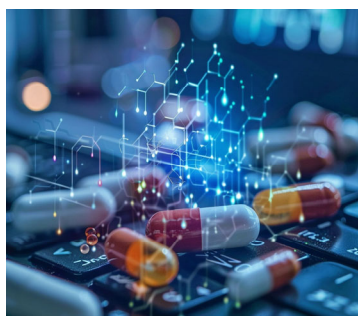


- 情報技術分野の足下の下落は、関税やAI投資コスト上昇の議論等、短期的なマクロ経済の懸念を反映しているものとする。テクノロジーを牽引する長期の構造的成長トレンドは、マクロ経済や地政学リスクに関わらず、中長期的にわたる変革であり、今後も継続すると予想している。
- 主要なテクノロジー企業は、AIアプリケーションの需要拡大に対応するため、データセンターの容量の拡大と半導体技術の進化を目的とした前例のない規模の資本支出を発表した。この投資の急拡大こそが、業界がAIインフラの拡大にコミットしていることを示しており、AIが将来の成長とイノベーションを牽引する長期的な可能性を示していると考ええる。



GRAN NEXT ヘルスサイエンス

医療技術進展や高齢化がもたらす堅調な業績見通しに注目



- 足下、ヘルスケア企業のファンダメンタルズは良好であり、2025年の業績（前年比）は、パンデミック期を除けば過去18年間で最大の成長率となる見通しである。また、株価は2024年秋以降軟調に推移しているため、ヘルスケア企業のバリュエーションは過去平均よりも相対的に割安な水準にあり、ヘルスケアセクターには投資妙味があると考えている。
- 医療技術の進展や、先進国や発展途上国における高齢化に支えられ、ヘルスケア関連企業は今後も長期的に堅調な収益見通しが継続すると考える。



GRAN NEXT フィナンシャルズ

金融規制緩和の恩恵を受ける分野、割安な分野に注目



- 米トランプ政権が進める政策について、金融規制緩和や個人および法人税率の引き下げ等が金融セクターにはポジティブに寄与すると期待している。
- 消費者金融分野は、足下割安な水準で取引されていることに加え、米国の金融規制緩和によって成長が見込まれることから引き続き投資妙味があると考ええる。
- フィンテック分野も割安な水準が継続しているとみており、インフレによる収益成長の促進や経費削減による収益性の向上により今後も株価成長が見込まれると考えている。

・画像はイメージです。

・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ブラックロック ピックアップテーマ



GRAN NEXT ヘルスサイエンス

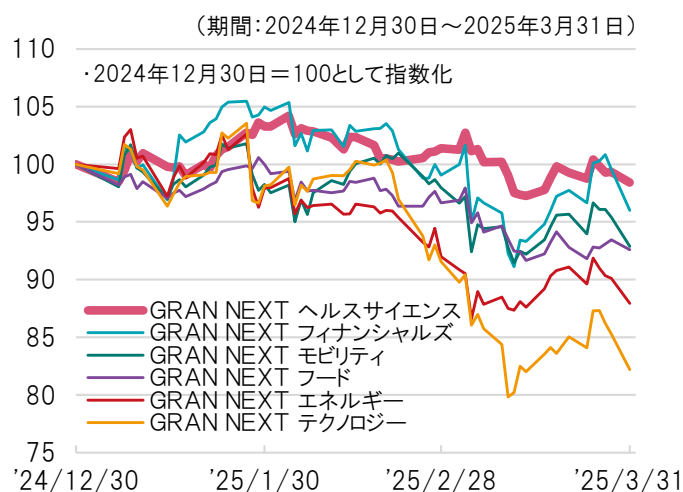
株価の下落耐性と上昇期待を併せ持つヘルスサイエンス関連株の魅力

不確実性高まる局面で見直されるディフェンシブ銘柄としての魅力

2025年1月の米トランプ大統領就任以降、矢継ぎ早に打ち出される強硬な政策は金融市場にも波及し、グローバル市場で株価が乱高下する不安定な展開が続きました。しかし、このような短期かつ急速な変動に直面する局面でも、ヘルスサイエンス関連株は下落耐性の強さを発揮しました。私たちの健康的な生活に欠かせない医療という恒久的な需要を下支えに、景気動向の影響を受けにくく、業績拡大を継続してきました。

今後についても、米トランプ政権の政策の不透明感による影響はしばらく続くと思われるものの、バイオテクノロジーが進化する中で、本来持つディフェンシブ性に加え、新しい治療法や新薬開発などの革新的な領域での成長が期待されます。

■ GRAN NEXTの2025年初来のパフォーマンス



・基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

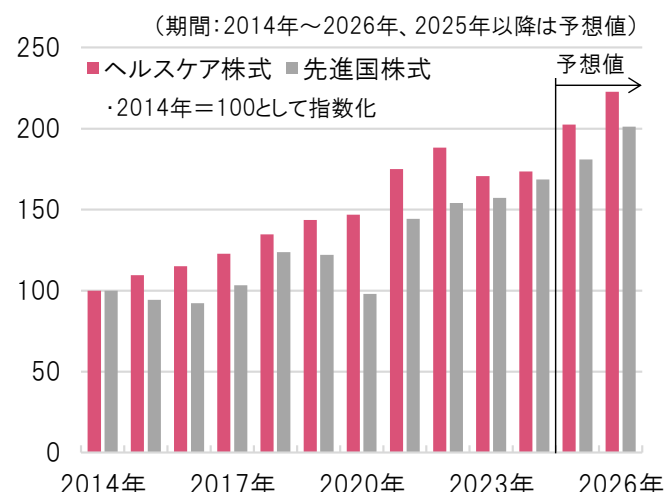
肥満症治療薬市場の拡大が追い風に

肥満率の上昇は先進国だけでなく新興国でも見られ、肥満症は世界的な問題となっています。肥満症治療薬として注目されているのが、血糖値を調整しやすくし、体重減少をもたらす効果が認められているGLP-1受容体作動薬です。

2025年4月、肥満症治療薬市場の主要企業の1つであるイーライ・リリー(米国)は、経口肥満症治療薬「オルフォグリプロン」の第3相臨床試験で減量効果が確認されたことを発表しました。これまで主流だった注射タイプから、より使いやすい経口薬の開発が進められる中、オルフォグリプロンは容量の制約が少なく飲みやすいことや物流コストが低いことなどから市場に好感され、同社の株価を押し上げました。

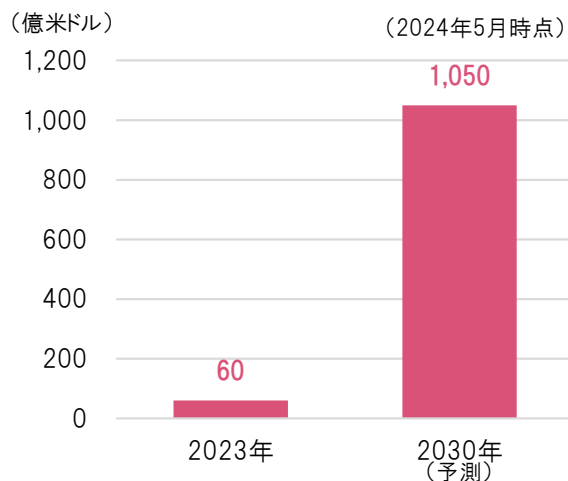
肥満率の上昇を背景に肥満症治療薬の需要は続くと考えられ、肥満症治療薬市場の拡大が見込まれています。このことは、ヘルスサイエンス領域の成長期待の要素の1つと考えています。

■ 先進国株式およびヘルスケア株式のEPS(1株当たり利益)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成
・ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックス(それぞれ米ドルベース)・指数については「本資料で使用している指数について」をご覧ください。・予想はBloombergによるもの。

■ 世界の肥満症治療薬の市場規模予測



(出所)statistaのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

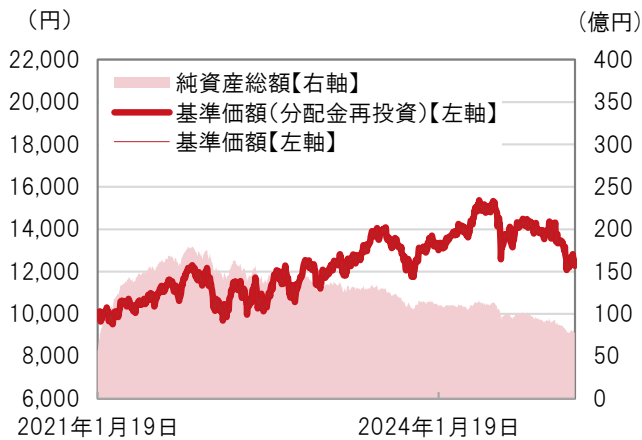
・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・上記はヘルスサイエンス分野のトピックをご紹介しますものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

GRAN NEXTの設定来運用実績



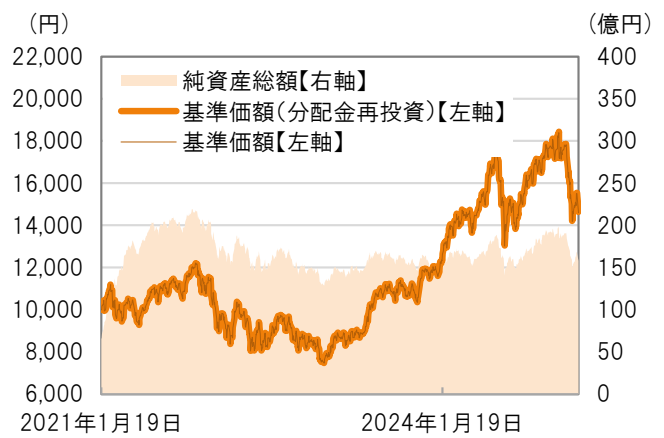
GRAN NEXT エネルギー

(期間: 2021年1月19日～2025年3月31日)



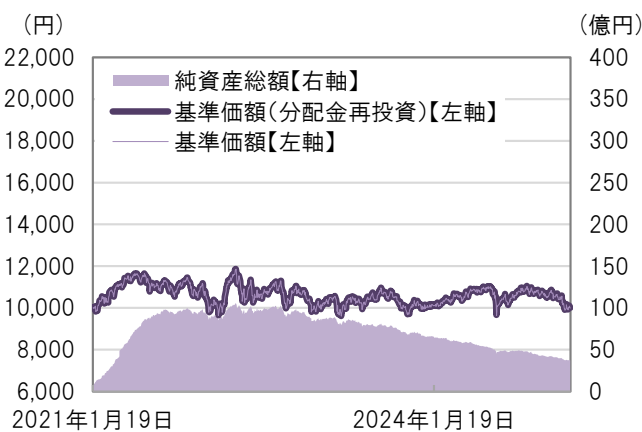
GRAN NEXT テクノロジー

(期間: 2021年1月19日～2025年3月31日)



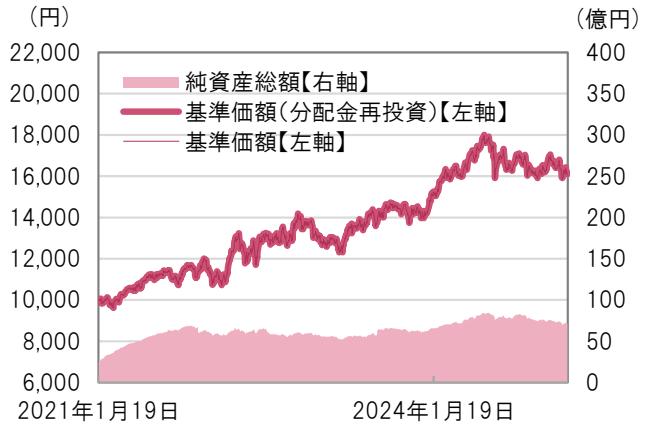
GRAN NEXT フード

(期間: 2021年1月19日～2025年3月31日)



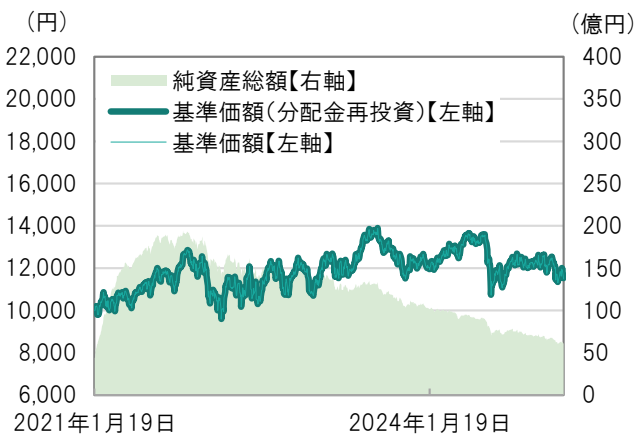
GRAN NEXT ヘルスサイエンス

(期間: 2021年1月19日～2025年3月31日)



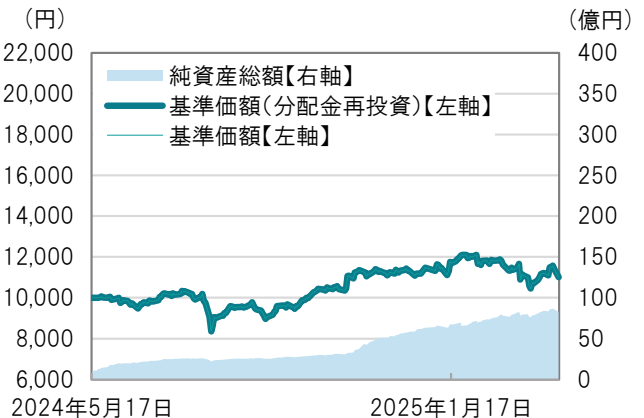
GRAN NEXT モビリティ

(期間: 2021年1月19日～2025年3月31日)



GRAN NEXT フィナンシャルズ

(期間: 2024年5月17日～2025年3月31日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、1万口当たりで運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

GRAN NEXT エネルギー/ GRAN NEXT フード/ GRAN NEXT モビリティ/
GRAN NEXT テクノロジー/ GRAN NEXT ヘルスサイエンス/ GRAN NEXT フィナンシャルズ

ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な
値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

1 GRAN NEXT エネルギー

主として日本を含む世界各国の持続可能なエネルギー関連企業の株式等(DR(預託証券))を含みます。)に投資を行います。

●持続可能なエネルギー関連企業とは、再生可能エネルギー技術・開発、代替燃料、エネルギー効率化、エネルギー貯蔵、エネルギー・インフラを含めた、
代替エネルギーおよびエネルギー技術の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT フード

主として持続可能な食に関するテーマに取り組む日本を含む世界各国の食品・農業関連企業の株式等(DR(預託証券))を含みます。)に投資を
行います。

●食品・農業関連企業とは、包装、加工、流通、技術、食品関連・農業関連サービス、種子、農薬・食品添加物、食品生産の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT モビリティ

主として持続可能な輸送手段への移行から利益を得る日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等(DR(預託証券))を含みます。)に
投資を行います。

●輸送関連企業とは、輸送に使用・適用されるテクノロジーの研究、開発、テクノロジーを利用した製品・サービスの製造、販売の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT テクノロジー

主として日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等(DR(預託証券))を含みます。)に投資を行います。

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

主として日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等(DR(預託証券))を含みます。)に投資を行います。

●ヘルスサイエンス関連企業とは、医療、医薬品、医療機器・用品、バイオテクノロジー開発の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT フィナンシャルズ

主として日本を含む世界各国の金融関連企業の株式等(DR(預託証券))を含みます。)に投資を行います。

・ DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。
※ 上記のファンド*1は、外国投資法人である投資対象ファンド*2の投資信託証券(クラスI2・円建て(GRAN NEXT エネルギーはX2・円建て))を主要投資対象とします。また、
マネー・マザーファンドへの投資も行います。

*1:ファンド	*2:投資対象ファンド
GRAN NEXT エネルギー	ブラックロック・グローバル・ファンズーサステナブル・エナジー・ファンド
GRAN NEXT フード	ブラックロック・グローバル・ファンズーニュートリション・ファンド
GRAN NEXT モビリティ	ブラックロック・グローバル・ファンズーフューチャー・オブ・トランスポート・ファンド
GRAN NEXT テクノロジー	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・テクノロジー・ファンド
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・ヘルスサイエンス・ファンド
GRAN NEXT フィナンシャルズ	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・フィナンシャルズ・ファンド

2 GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT フード /GRAN NEXT モビリティ

持続可能な各投資テーマの関連企業の株式等の中から、独自の詳細な企業調査・分析を行い、ポートフォリオ構築を行います。

GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXTヘルスサイエンス/GRAN NEXTフィナンシャルズ

各投資テーマの関連企業の株式等の中から、独自の詳細な企業調査・分析を行い、ポートフォリオ構築を行います。

3 各外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社*3が行います。

●ブラックロックグループは1988年に設立され、世界35ヵ国以上に拠点を有する独立系の資産運用会社グループです。

●同グループは世界に約2,800名の運用のプロフェッショナルを有し、世界最大級の運用資産残高約1,815兆円を誇ります。
(2024年12月末時点、為替レートは1米ドル＝157.16円)

●各外国投資法人を運用する株式チームは、充実した調査体制を有しており、同グループのリソースを最大限に活用します。

*3 ブラックロックグループの投資顧問会社は、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント LLC[米国]、
ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド[イギリス]、ブラックロック(シンガポール)リミテッド[シンガポール]のことをいいます。

・ 顧問会社は、運用の指図権限をさらにブラックロックグループの他の会社に委託する場合があります。

4 原則として、為替ヘッジを行いません。

(出所)ブラックロックの資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

●実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

5 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

●分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

GRAN NEXT マネープールファンド

ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- 1 わが国の短期公社債等を中心に投資し、主として安定した利子等収益の確保を図ります。

※実際の運用はマネー・マザーファンド受益証券を通じて行います。

- 2 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因:「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT フィナンシャルズ」の基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等、「GRAN NEXT マネープールファンド」の基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。「GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT モビリティ/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT フィナンシャルズ」の主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスクです。「GRAN NEXT マネープールファンド」の主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30%(税抜 3.00%) 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。 ※GRAN NEXT マネープールファンドは、かかりません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	【GRAN NEXT エネルギー】 日々の純資産総額に対して、年率1.881%(税抜 年率1.710%)をかけた額 - 投資対象とする外国投資信託証券の投資顧問会社報酬:委託会社が受ける報酬から、当該外国投資信託証券のファンド組入額の年率0.68%以内が支払われます。 【GRAN NEXT フード】【GRAN NEXT モビリティ】 ■ 当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133%(税抜 年率1.030%)をかけた額 ■ 投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.68%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■ 実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.813%程度(税抜 年率1.710%程度) ※ 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 【GRAN NEXT テクノロジー】【GRAN NEXT ヘルスサイエンス】【GRAN NEXT フィナンシャルズ】 ■ 当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133%(税抜 年率1.030%)をかけた額 ■ 投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.75%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■ 実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.883%程度(税抜 年率1.780%程度) ※ 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 ※ 投資対象とする外国投資信託証券では、保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。また、投資対象とする外国投資信託証券で有価証券の貸付を行った場合、その収益の一部がブラックロックグループの会社へ支払われます。投資対象とする外国投資信託証券においては、実質的な保管報酬および事務処理に要する諸費用は事前に把握ができないため表示しておりません。 【GRAN NEXT マネープールファンド】 日々の純資産総額に対して、年率0.605%(税抜 年率0.550%)以内をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等(GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド)・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。GRAN NEXT フィナンシャルズを除く各ファンドについては、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。GRAN NEXT フィナンシャルズについては、第2計算期間以降の毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

(2025年4月30日現在)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

設定・運用は

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号、加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

【本資料で使用している指数について】
■ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス
■先進国株式:MSCI ワールド・インデックス
(それぞれ米ドルベース)

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)をあわせてご確認ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】
Global Industry Classification Standard(“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

本資料に関するご注意事項等

■本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。